

日本台湾学会第四回学術大会プログラム

(確定版：2002.5.21)

日時：2002年6月8日（土）

会場：[名古屋国際会議場](#)

名古屋市熱田区熱田西町1番1号

Tel:052-683-7711 Fax:052-683-7777

参加費：2000円（会場費と報告論文集のセット）

後援：財団法人交流協会

スケジュール：

1. 受付開始：9：00
2. 午前の部：9：30～11：50
3. 午後の部：13：00～15：20
4. 記念講演：15：30～17：00
5. 会員総会：17：10～17：40
6. 懇親会：18：00～20：00

日本台湾学会
名古屋
大会
へようこそ
2002.6.8

《分科会企画》

No.1+2 「脱中国化と文化的ヘゲモニーの変遷」

午前・午後2セッション企画

企画責任者：本田親史（法政大学大学院博士課程）

報告者：菅野敦志（早稲田大学大学院博士課程）

「中華文化復興運動の歴史的意義 — 『国語』構想の観点から」

林欣儀（大阪大学大学院博士課程）

「台湾のテレビ・コマーシャルに見られる多言語使用状況
及びその社会言語学的意味」

頼昱誠（東京大学大学院博士課程）

「日本トレンドードラマの受容 — 送り手、受けて研究 —」

鄭秀娟（東京大学大学院博士課程）

「東京観光における台湾人の眼差し」

コメンテーター：蔡易達（帝京大学非常勤講師）、毛利嘉孝（九州大学助教授）

岩淵功一（国際基督教大学助教授）、丸川哲史（学習院大学助手）

No.3+4 「台湾文学における佐藤春夫とその系譜」

午前・午後 2セッション企画

企画責任者：河原功（成蹊高等学校）

報告者：河野龍也（東京大学大学院博士課程）

「佐藤春夫の臺灣紀行 — 作品世界の重層性と批評性の由來と」

和泉司（慶応大学大学院博士課程）

「在台内地人作家の『女誠扇綺譚』受容の行方 — 『台湾』を語る『不安』」

フェイ・クリーマン（アメリカ・コロラド大学助教授）

「西川満と佐藤春夫 — 歴史と物語の間」

岡林稔（宮崎大学教授）

「中村地平と佐藤春夫 — 南方憧憬の系譜」

コメンテーター：藤井省三（東京大学教授）、鳥居邦朗（武蔵大学教授）

三木直大（広島大学教授）、邱若山（台湾・静宜大学専任講師）

No.5 「台湾メディア史研究」

1セッション企画（午前）

企画責任者：三澤真美恵

報告者：李承機（東京大学大学院博士課程）

「日本植民統治初期台湾における『輿論』のあり方とその展開 —
民営メディアとその関係者の諸相」

三澤真美恵（東京大学大学院博士課程）

「1920年代台湾映画政策の国際的文脈と内在的要因 —
『活動写真フィルム検閲規則（1926年府令第59号）』施行を中心に」

何義麟（台北師範学院助理教授）

「二・二八事件をめぐる台湾ジャーナリズムの変容 —
書き手と言葉の転換を中心として」

コメンテーター：栗原純（東京女子大学教授）、ダグラス・フィックス（リーズカレッジ教授）

近藤正巳（近畿大学文芸学部助教授）

No.6 「日本統治期における台湾原住民の社会と表象に関する人類学的研究」

1セッション企画（午前）

企画責任者：清水純（日本大学経済学部教授）

報告者：野林厚志（国立民族博物館助手）

「博物館における台湾原住民文化 — 鹿野忠雄コレクションの持つ意味」

中村平（大阪大学大学院博士課程）

「マラホーから頭目へ — 台湾タイヤル族エヘン社の日本植民地経験」

コメンテーター：山路勝彦（関西学院大学教授）、小林岳二（高校教諭）

No.7 「台湾における『中華民国』ファクター再考 — 中華民国建国90周年によせて」

1セッション企画（午前）

企画責任者：川島真（北海道大学大学院助教授）

報告者：横山宏章（長崎シーボルト大学教授）

「『以党治国』の終焉と『還政於民』の実現 —

国民党における憲政構想と政党政治」

鈴木賢（北海道大学大学院教授）

「遷台後中華民国法体制の成熟と変容 —

司法人材の来源に着目して」

山本真（筑波大学歴史人類系専任講師）

「大陸時期と台湾時期における中華民国行政の連続面 —

土地行政を中心として」

No.8 「名古屋と台湾」名古屋大会実行委員会企画

1セッション企画（午後）

企画責任者：やまだあつし（名古屋市立大学助教授）

報告者：松金ゆうこ（東京大学大学院博士課程）

「昭和初期台湾における早すぎた観光ブーム —

鳥瞰図絵師吉田初三郎の足跡を通じて」

河原林直人（竜谷大学非常勤講師）

「台湾引揚者の戦後 — 中京地域を事例として」

コメンテーター：松田京子（愛知教育大学助教授）、浅野豊美（中京大学助教授）

No.9 「グローバル化の中の台湾企業 — 産業集積と対外直接投資」

1セッション企画（午後）

企画責任者：川上桃子（アジア経済研究所）

報告者：岸本千佳司（国際科学振興財団研究員）

「台湾パーソナル・コンピュータ産業の発展 —
産業集積の企業間関係分析」

赤羽淳（三菱総合研究所国際産業研究部）

「台湾企業の直接投資と本国の生産活動 —
対米投資，対東南アジア投資，対中投資の比較分析」

コメンテーター：川上桃子（アジア経済研究所）

岡本由美子（名古屋大学大学院国際開発研究科助教授）

No.10 「自由論題報告」

1セッション企画（午後）

座長：松田康博（防衛庁防衛研究所）

報告者：富田哲（台湾・淡江大学日本語文学系）

「台湾総督府国勢調査による言語調査 —
近代的センサスとしての国勢調査の性格からみた内容とその変化」

若林正文（東京大学教授）

「現代台湾における台湾ナショナリズムの展開とその現在の帰結 —
台湾政治観察の新たな課題」

コメンテーター：松永正義（一橋大学教授），小笠原欣幸（東京外国語大学助教授）

《記念講演》（15：30～17：00）

講演者：劉翠溶教授（中央研究院台湾史研究所籌備處主任）

テーマ：「台湾環境史研究：開展一個新研究視野」（台湾環境史研究—新たな視角をもとめて）

《会員総会》（17：10～17：40）

《懇親会》（18：00～20：00）

会場：「展望レストランパステル」（同会場7F）

会費：正会員 5000円 院生 3000円

[日本台湾学会ホーム](#)